

いつまでも自宅で元気に暮らすために

～自力での排泄をサポートする～

洗淨・殺菌機能付き 全自動ビルトイントイレ

便器のないトイレ！？

目的

ポータブルトイレや紙オムツに頼ることなく、可能な限り終生、他人の力を借りずに自力で排泄できることをサポートするトイレを開発・普及することで、自宅を終の棲家とすること、介護現場を支えることを目的とします。

現状

加齢に伴う衰えや、脳疾患による片マヒなどの機能障害により、トイレに行けない、トイレを使えない、トイレで排尿や排便ができない方に対し、現状では一般的に、下記のような対応がされています。

◆トイレに行けない



◆トイレを使えない



◆トイレで排尿や排便ができない

解決策) ・廊下に手すりをつける

・手引きする

・車椅子で移動する(入り口まで)

・安心のために、紙オムツ・パットを使用する

解決策) ・トイレ内に手すりをつける

・トイレ内まで車椅子が入れるようにリフォームする

・ポータブルトイレを使用する

・安心のために、紙オムツ・パットを使用する

解決策) ・紙オムツ・パットを使用する

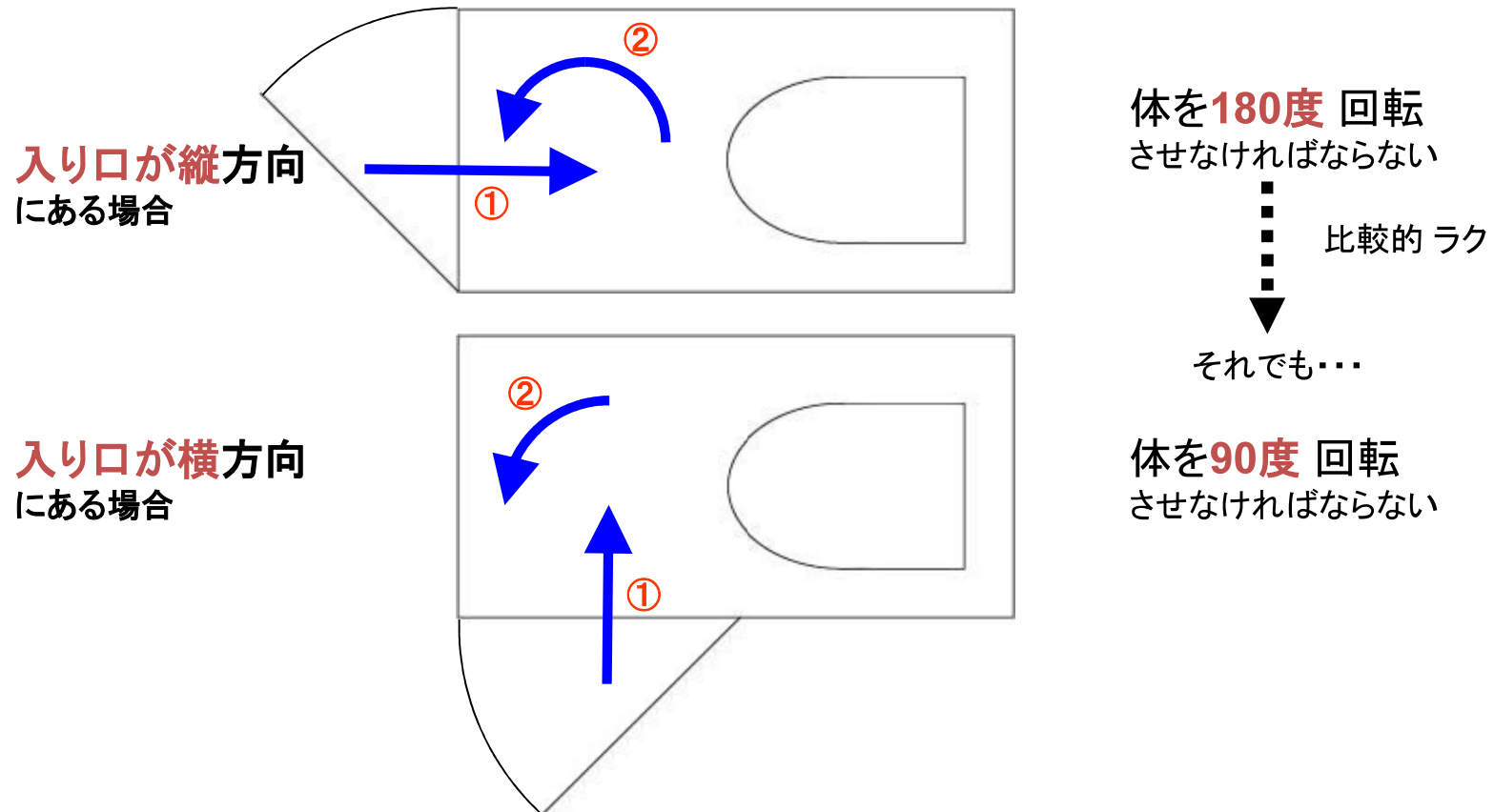
介護者にとって、一日に何度も必要になる排泄介助の負担は大きく、そのため、「介護が楽になるから」という理由で、ポータブルトイレを使用するにはまだ早い、あるいは紙オムツを使用するにはまだ早い方に、それらを使用させる状況があります。

その結果、QOL(クオリティ・オブ・ライフ＝生活の質)は大きく低下し、尊厳は傷つき、筋力は低下し、生きる意欲も低下し、寝ている時間が増えることで、寝たきりに至るスピードが早くなる状況が生まれます。

現状 ～トイレの配置～

通常、トイレの奥に便器が設置されており、便座に座るためには、利用者はトイレに入り、体を180度または90度、体を回転させなければなりません。「体を回転させる動作」は、特に高齢や脳疾患による片マヒなどの機能障害のある方にとっては非常に難しく、負担がかかります。

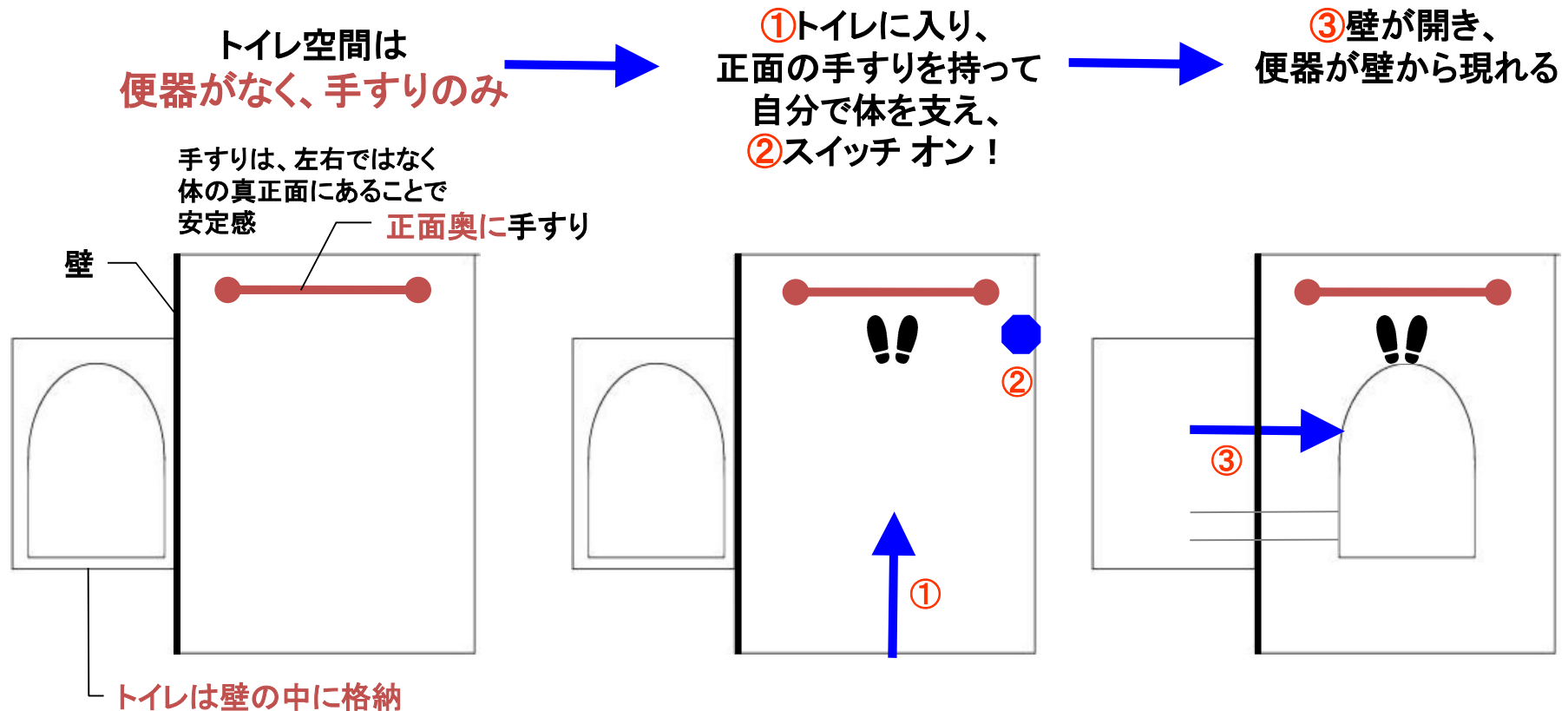
せっかくトイレに行ける人であっても、体を回転させることに時間がかかることで、トイレ内で失禁してしまうこともあります。その結果、本人の尊厳は傷つき、トイレ掃除等や洗濯(衣類や靴)など、介護者の負担が増します。



夢アイデア

便器のないトイレ！？ 人が立っている場所に便器が現れる！

便器は壁の中に格納されており、トイレは手すりがあるだけの空間＝便器のないトイレ！
従来) 便器のある場所に人が立つ → 夢アイデア) 人が立っている場所に便器が現れる！



～自力での排泄をサポートする～
洗浄・殺菌機能付き 全自動ビルトイントイレ
便器のないトイレ！？

夢アイデア

便器を丸ごと洗浄・殺菌！

〇157など感染症予防に◎、トイレ掃除も楽々！

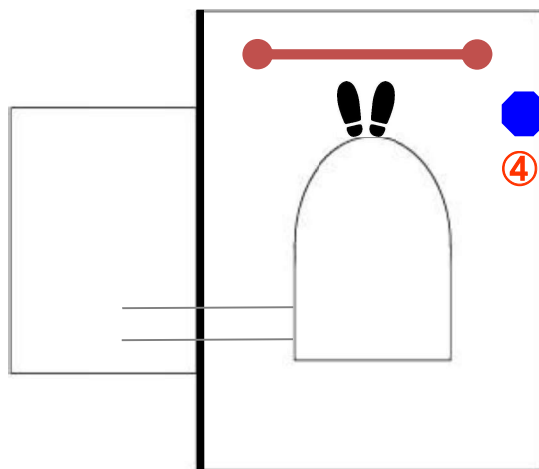
「食器洗い機」のように、便器を丸ごと洗ってくれたらいいのに・・・を実現！



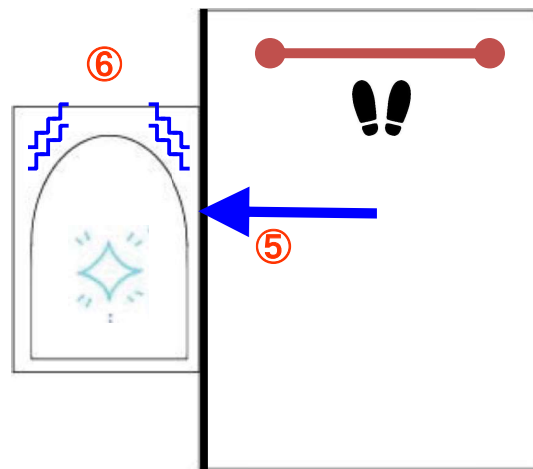
トイレ掃除も楽々
利用者・介護者とも
負担軽減

用便が終われば、
手すりを持って立ち上がり、
自分で体を支え、
④スイッチオン！

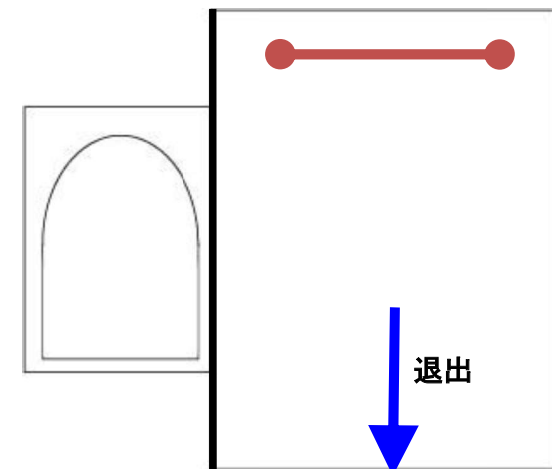
⑤便器は壁に格納。
その後、汚物を流し、
⑥便器を丸ごと洗浄・殺菌



便器は、蓋ナシ



格納庫の中で、
丸ごと洗浄・殺菌されるので
トイレ内は清潔



車椅子利用者の場合は、
手すりを持ったまま、
介護者の差し出した車椅子に
腰掛けられる

～自力での排泄をサポートする～
洗淨・殺菌機能付き 全自動ビルトイントイレ
便器のないトイレ！？

洗淨・殺菌機能付き 全自動ビルトイントイレ

一日数回、トイレに行くこと&立ち上がる動作・座る動作そのものがリハビリであり、“人間らしく生きること”の基本ともいえます。排泄のサポートをするトイレが開発され普及するにより、健康寿命が延び、介護者の負担も軽減され、利用者・介護者みなが優しい気持ちになれるものと思います。
「洗淨・殺菌機能付き 全自動ビルトイントイレ」が、当たり前のように全戸に普及した未来が来ることを願っています。

